

はじめに

前刊の『アクティブラーニングで学ぶ小学校の体育の授業づくり』は2019年に発行しました。当時は学習指導要領が改訂されるタイミングであり、その時期の重要なキーワードが「主体的対話的で深い学び」でした。そのため、書籍を通して読者の皆様が主体的対話的で深い学びが促されるように企図して執筆しました。

前刊では各章で読者の皆様が試行錯誤できるように「考えるタネ」や「考えてみよう」といった仕掛けをつくったり、図や表、絵なども用いて、考えやすくする工夫をしたりしました。おかげさまで好評を受け、今回改訂版を発刊することができました。改訂版ではありますが、時代の変化を踏まえ『体育の授業づくりの学修―思考しながら教師の専門的知識を創発するための本―』とタイトルを変更し、発刊します。

前刊が発行された2019年と現在では社会や教育ニーズが大きく変わってしまいました。それは新型コロナウイルス感染症の拡大、GIGA スクールの運用、令和の日本型学校教育という方向性の提示などが挙げられます。

大きな社会の変化ではウィズコロナの時代になったということです。このような時代が来るとは前刊を執筆した際には夢にも思いませんでした。われわれの生活の中で制限が多くかかり、目に見えないウイルスと共存していく社会が到来しました。普段の生活様式を変えるとともに学校での学習様式も変化していきました。

コロナ禍にあっては緊急事態宣言の下、子どもたちは学校に通うことができなくなり、オンラインでの授業となりました。ちょうど、政府によるGIGAスクール構想の下、一人一台ICT機器という状況にあったため、小学校をはじめ、多くの校種でオンライン授業が展開されました。オンライン授業に際して、さまざまな問題もありましたが、われわれはその問題を一つひとつ乗り越え、オンライン授業を展開していきました。このような時代の変化を受け、今回の本書の改訂では、新たにICTの利活用に関する内容を一つの章として取

り出し、議論を深めることにしました。

また、中央教育審議会は「令和の日本型学校教育」という方向性を提示しました。そこでは、Society5.0時代や新型コロナウイルス感染症の感染拡大などに伴う予測困難な時代、社会全体のデジタル化・オンライン化、DX（デジタルトランスフォーメーション）加速の必要性といった社会背景を踏まえて「すべての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学び」が目指されています。令和の日本型学校教育における子どもたちに育むべき資質・能力として「一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要」（中央教育審議会、2021）と示されています。

そして、ここで示された資質・能力を育成するために「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されていることが主張されています。「協働的な学び」については前刊から引き継がれている主体的・対話的で深い学びという本著のコンセプトが生かされると考えられます。一方、「個別最適な学び」についてはここで少し理解を深める必要があります。

中央教育審議会（2021）によると「個別最適な学び」について学習の個性化が挙げられています。それは、子ども一人ひとりの興味・関心・キャリア形成の方向性等に応じ、教師は一人ひとりに応じた学習活動や課題に取り組む機会の提供を行うことが示されています。つまり、子どものニーズに応じて、それぞれの子どもが異なる目標を掲げ、運動に参加し、学習を深め広げるという視点が求められます。

本書では「協働的な学び」について示しながらも、「個別最適な学び」についての理解も深まる議論が展開されています。本書を読み進めながら、子どもたちにとって「個別最適な学び」とは何かという視点を持ちながら考えることで理解が深まるものと考えています。本書を読むことで令和の日本型学校教育についての理解も深まり、読者の皆様の体育の専門性が高まるとともに、体育授業が一步でも充実することを心から願っています。

【参考文献】

中央教育審議会（2021）「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）

成家 篤史

体育の授業づくりの学修

— 思考しながら教師の専門的知識を創発するための本 —

目 次

はじめに	成家篤史…i
------------	--------

第Ⅰ部 体育の認識論・存在論

第1章 体育はどんな教科？

- 体育の存在意義を考える — 鈴木直樹…2
1. 体育は体力向上をめざすもの!? 2
 2. 体力テストの結果から考える。 3
 3. 現代の体育の賞味期限は??? 5
 4. なぜ、賞味期限切れなのか??? 6
 5. 「いま—ここ」を大切に! 8

第2章 体育の歴史から体育の未来を紐解こう

- 体育の変遷を考える — 石塚 諭・鈴木直樹…10
1. 体育授業や体育教師のイメージ 10
 2. 体育の変遷 11
 3. 生涯スポーツとの関連から考える未来の体育 15

第Ⅱ部 体育の学習内容論

第3章 体育という旅の目的地とは何？

- 体育の目的・目標を考える — 成家篤史…22
1. なぜ体育を「旅」と捉えるの? 22
 2. 「旅」の目標と目的地 26
 3. 体育という旅の目的地 28

第4章 体育の学びのラーニング・コンパスってどんなもの？

- 運動の特性と運動領域を考える — 成家篤史…32
1. ラーニング・コンパスとは 32

2. 学習の個性化における子どもたちが身に付けるべき資質・能力 34
3. 学習内容から捉えるラーニング・コンパス 35
4. 重なり合うラーニング・コンパス 39

第5章 体育の学びの見通しは？

— 子どもの心と体の発達を考える — 成家篤史…42

1. 体育という学びの旅 42
2. 小学生という特徴 42
3. 認知面の発達段階 45
4. 発達段階を踏まえて体育という学びの旅のアップデートを考える 47

第Ⅲ部 体育の学習指導論

第6章 体育における教師の役割は？

— 体育の役割を考える — 石塚 諭…54

1. 体育教師に求められる役割 54
2. 未来の体育に求められる教師の役割とは 57
3. 授業改善と教師の意思決定 58
 - (1) カイゼン KAIZEN 58
 - (2) 反省的实践家としての教師 59
 - (3) 授業中の意思決定 59
4. 学び手としての教師をめざして 61

第7章 体育ってどうやって指導するの？

— 学習指導方略を考える — 石塚 諭…64

1. 見方・考え方を働かせた学習過程 64
2. 学習指導方略を（design）するとは？ 65
3. 学習指導モデルと学習形態 67
4. ゲーム中心の指導 69

5. 共生体育を目指した指導 70

第8章 評価をどうやって生かすの？

— 学習評価を考える — 鈴木直樹…73

1. モノサシをもつということ… 73
2. 学習評価について考える 74
3. 何を評価するのか？ 76
 - (1) 技能（運動）に偏った評価になっている 77
 - (2) 真正に学習の成果を評価していない 77
 - (3) 保護者の評価とのズレ 78
4. 学習評価のいま— むかし 79
5. 学習評価の未来 80

第9章 校庭や体育館にタブレットを持っていくの？

— ICT の利活用を考える — 大熊誠二…83

1. 体育の授業に、タブレットは不必要？ 83
2. 学習場面におけるタブレットなどの ICT 機器の役割 85
3. タブレットを利活用できる好機が来た。そして未来へ。 89

第Ⅳ部 体育の授業づくり論

第10章 どうやって授業を計画・実践するの？

— 授業づくりのプロセスを考える — 石井幸司…94

1. 授業計画の立て方のその問題点 94
2. 授業計画を9個のプロセスで考えよう 96
 - (1) 年間計画 96
 - (2) 子どもの実態 97
 - (3) 運動のおもしろさ（運動の特性） 98
 - (4) 子どもの学びの姿 99

- (5) 教材・教具 99
- (6) 学習過程 99
- (7) 学習形態 99
- (8) 学習資料や ICT 100
- (9) 教師行動の想定 100
- 3. これからの体育の授業づくりをもとめて 101

第 11 章 サンマ (3 つの間) (時間・空間・仲間) をどうやってデザインするの? — 学習過程・学習形態を考える —…………… 鈴木直樹…104

- 1. なぜ、体育が嫌いなのか? 104
- 2. 体育嫌いを生み出す要因 105
 - (1) 体育嫌いを生み出す「時間」 105
 - (2) 体育嫌いを生み出す「仲間」 106
 - (3) 体育嫌いを生み出す「空間」 107
- 3. 体育授業の時間のデザイン～学習過程論 109
- 4. 体育授業の場〈仲間・空間〉のデザイン～学習形態論 111
- 5. サンマを工夫した指導をめざして 114

第 12 章 教材って具体的にはどうやって開発するの?

— 教材を考える —…………… 石井幸司…116

- 1. 多様に存在する体育の教材・教具 116
- 2. 運動を子どもに合わせる 117
- 3. 学習内容を「クローズアップ (誇張)」した教材づくり 118
- 4. 運動のおもしろさから導かれる学習内容 119
- 5. これからの ICT 利活用 121
- 6. 質の高い教材づくりを 123

第13章 学習指導案はどうやって作成するの？

— 作成と実際 —	大熊誠二	126
1. そもそも「学習指導案」とは何か？		126
2. 学習指導案を作成する準備		129
3. 学習指導案の作成にあたって		129
4. 子どもたちが明るく元気に学ぶための学習指導に向けて		134
指導案例 1 「チームワークでパス！パス！ゴール！」	…松田綾子	136
指導案例 2 第5学年 ボール運動 ゴール型「バスケットボール」	…村上雅之	142
指導案例 3 第5学年体育科学学習指導案	…和氣拓巳	147
巻末資料（教材例）		155
思わずやってみたくなる！		
運動や遊びの難易度を自分で設定できる場の設定	…大出知明	156
見えない世界を感じよう	…神崎芳明	158
縄×体づくり運動！		
オリジナル運動で、クラス全員でパワーアップ！	…五十嵐太一	160
安心して取り組める場で、自分の力に合わせて工夫ができる		
「マットワンダーランド」	…江原美沙	162
学びの過程を自己決定		
「ぐるんと回る感じを味わおう 鉄棒運動」	…村上雅之	164
動きの感じをつかみ、心地よい跳び方を目指す		
VR 跳び箱	…池田光明	166
走力にかかわらず、どの児童も夢中になって取り組める		
ピョンニョロじゃんけんりレー	…杉田 昇	168
運動の面白さ「水たまりを跳び越える」		
走り幅跳び	…小島大樹	170

スポンジハードルと踏み切りの可視化で	
リズムカルに走り越える「気持ちよさ」を味わせる	…佐佐木達哉 172
安心した競走とバトンパスを保障する	
2 サークル型リレー	…土井美穂 174
低学年の「水遊び」との接続を意識した	
「浮いて進む運動」の活動	…北川修司 176
安定した呼吸の獲得が水泳運動のベースとなる	
授業デザインで身に付ける「水の呼吸：浮きの型」	…平澤 彬 178
“多様な動き”と“遊び方の思考”を広げる	
「おたからゲットだいほうけん！」	…田邊玲奈 180
みんなで協力！	
ボール運びゲーム！！	…阿部泰尚 182
攻守一体プレー型で「返す・返させない」を十分に楽しむ	
ダンボールショット	…澤祐一郎 184
どこへ打っても OK！ 進塁阻止もはっきり分かる！	
クリケット風ゲーム！！	…藤本拓矢 186
ダイナミックになりきろう	
「とある冬の日」	…柄澤 周 188
フォークダンス DE 心は一つ	
「マイムマイム」「ハーモニカ」「パティケーキ・ボルカ」	…柄澤 周 190
なりたい自分になる！	
「マイ・ヘルス・ノート」で健康な生活	…村瀬智美 192
予想→検証→考察のプロセスを取り入れた	
ヒヤリハットマップづくり	…関口健一 194
おわりに	石塚 諭 196
執筆者紹介	198